

令和7年度事業系一般廃棄物減量化計画書のまとめ

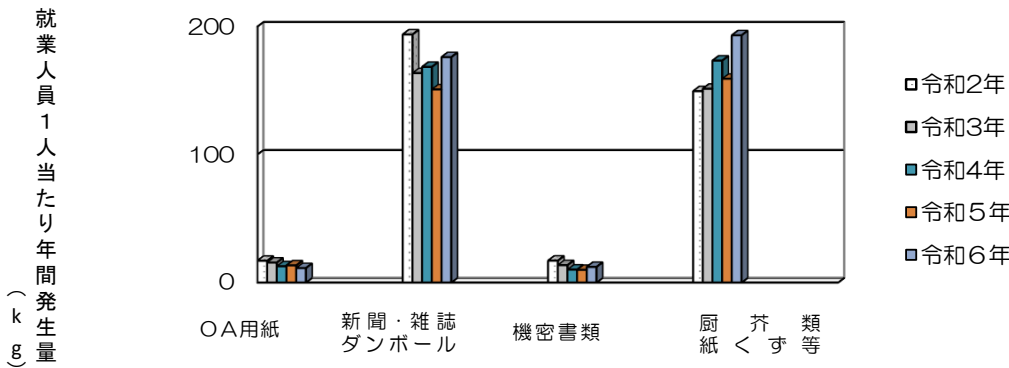
1. はじめに

このまとめは、市内の大規模事業者の皆さまより提出していただいた事業系一般廃棄物減量化計画書に基づいて、令和6年度実績での事業系一般廃棄物の発生状況と減量化・資源化の具体的手法についてとりまとめたもので、事業者の皆さまに今後の廃棄物管理の参考としていただくことを目的として作成しました。

2. 対象及び提出状況

- ◇ 対象事業者数 381
- ◇ 提出事業者数 319
- ◇ 提出率 83.7%

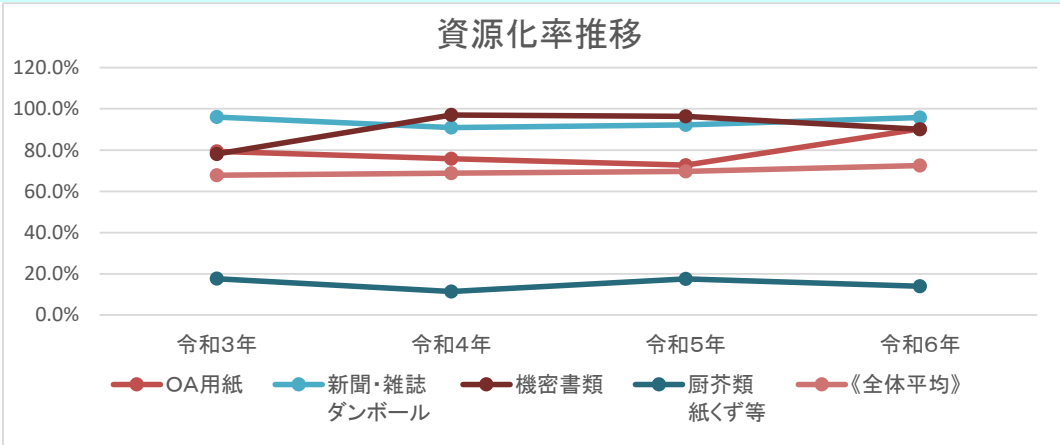
3. 就業人員1人当たり事業系一般廃棄物の年間発生量の推移



◇ 就業人員1人当たり年間発生量 (kg)

年 度	OA用紙	新聞・雑誌 ダンボール	機密書類	厨紙 くず等	《 合 計 》
令和2年	17.0	193.8	17.1	149.5	377.4
令和3年	15.6	163.6	13.6	151.4	344.2
令和4年	12.7	168.5	10.1	173.4	364.7
令和5年	13.4	150.9	9.9	159.2	333.4
令和6年	11.3	176.1	12.2	193.2	392.7

4. 事業系一般廃棄物の資源化率の推移



◇ 資源化率

年 度	OA用紙	新聞・雑誌 ダンボール	機密書類	厨紙 くず等	《 全 体 平 均 》
令和2年	85.4%	90.8%	50.7%	23.6%	62.6%
令和3年	79.4%	96.0%	78.1%	17.6%	67.8%
令和4年	75.8%	90.9%	97.0%	11.4%	68.8%
令和5年	72.7%	92.2%	96.4%	17.5%	69.7%
令和6年	90.3%	95.7%	90.1%	13.9%	72.5%

5. 減量化・資源化の具体的手法

書 類 系	◇社員各個人別・課別のコピー用紙使用枚数を把握し不要な印刷物を控える ◇用紙の両面使用・裏紙使用・縮小コピー、メモ用紙として再利用 ◇スキャナ・社内LAN・プロジェクター・テレビ会議を活用し、用紙の使用量を削減 ◇シュレッダー処理後の書類をRPF化する業者で処理、資源化
飲 食 系	◇食用油の全量回収、燃料として再資源化 ◇生ごみ処理機を使用し自社で堆肥化 ◇廃棄ロスの予算化を行う・売り切り基準を決めるなどによる廃棄食品の発生抑制 ◇堆肥化や飼料化を行う業者で処理
そ の 他	◇ごみの計量を徹底し、部署別排出量や再資源化量を社内で公開することで意識向上を図る ◇ごみ分別状況パトロールの実施、未分別品などの報告 ◇グリーン購入、リサイクル製品の購入および使用 ◇ISOなどの環境マネジメントシステムに基づく廃棄物管理 ◇レジ袋有料化・マイバッグ運動の実施 ◇EA21（エコアクション21）の推進

6. 優良事業所の取り組み例

名称	従業員数	廃棄物量	資源化率	取組内容
パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 津工場	1,116	0.05t/人	100%	WEB会議推奨による会議資料の削減。 経理処理電子化による定型書類などの削減。 電子承認・PDF化や電子申請業務の対象拡大による印刷用紙の削減。 分別の運用管理見直しで分別細分化を実施し、有価物品目拡大による廃棄物量の削減。
住友電装株式会社 津製作所	1,271	0.24t/人	100%	環境マネジメントシステムに基づく廃棄物管理。 環境分科会、エコクラブを設け、各分科会で削減目標を掲げ全員参加で改善活動。近隣小学校とも協力。 再利用、資源化、リサイクルの推進。
株式会社アンセイ三重工場	186	0.16t/人	100%	事務用紙の裏紙使用。 文書電子化による印刷量削減。 使用済の紙・ダンボール、シュレッダー屑のリサイクル。 会議でのプロジェクター使用による配布用紙削減。
マリンフーズ株式会社 三重工場	231	0.74t/人	100%	古紙の有価売却。 薬剤・事務用品等において詰め替え容器を使用し、使い捨て容器を削減。 ミスコピー・使用後用紙の裏紙利用。 マイバック利用の呼びかけ。

今後とも事業系一般廃棄物の減量化・資源化にご協力をお願いします。

事務担当	津市環境部 環境政策課 資源循環推進担当
電話番号	059-229-3258
E-mail	229-3139@city.tsu.lg.jp